

# クラブ代表挨拶

続くコロナ禍の2021年…

今年度も昨年度に続き、新型コロナウイルス（Covid-19）変異株（デルタ株・オミクロン株）の拡大に対し、十分な警戒をしつつ活動を実施することとなりました。その状況下、まずは国、県、市から発出される「コロナ感染予防のアナウンス」を、掲示などを通じて海浜利用者に伝達、注意喚起を行うところから活動が始まりました。

年度の前半は オリンピック・パラリンピックの実施も決まり通常の状態に戻れるか…との期待もありましたが、その後感染者の増大により再度 緊急事態宣言が発出され、我々の事業も、ほぼ中止状態に追い込まれました。

その中では、通常活動にも大きな影響があり、不要不急の外出や県またぎを防ぐため、メンバー参加規制も継続した状態で、一日5人～8人体制でBBQパトロールや海浜利用者への対応を行いました。

しかしながらワクチン接種の効果もあり状況が少しずつ改善する中、7～8月の重点期間パトロールも通常とおり実施。また秋口に緊急事態宣言が解除されて以降は、様々なイベントも少しずつ再開される中、今年度は12/4のスタンドアップパドル日本選手権で、無事年間のイベントを終了させることができました。

また目新しいところでは、沖縄県などで大きな被害をもたらした「軽石問題」も漁業関係者や我々にとって大きな懸念材料でした。幸い茅ヶ崎の海には、これまでのところ影響は報告されていませんが、今までには無い問題が年々増えている…という印象です。

来年度も引き続き、新型コロナウイルスと共存という状態で我々の活動が行われていくと考えています。常日頃気持ちを支えてくれる支援者の為にも、また海を訪れる全ての人のためにも、クラブメンバー全員で創意工夫をしながら活動を継続していき、また大切な仲間達と一緒に活動してくれることに感謝し、前向きに進んでいきたいと思えます。



サーフ90  
茅ヶ崎ライフセービングクラブ  
代表 小川 恵一郎

**SURF 90 CHIGASAKI LSC**